Fujioka Concrete Industry co.,ltd.

外側線に対応!

中央分離帯用 管渠型側溝［草防止仕様］

連続する集水スリットで 路面水を素早く集め、 水溜りを防ぎます。

エプロン幅を狭め外側線に対応!



❶最大限の舗装幅（外側線に対応!）

エプロン幅を88㎜とすることで
舗装幅を最大限に拡大でき、
外側線を設計通りに引くことができます。

❷中央分離帯の水たまり防止

カーブ時の道路横断勾配にともない、
中央分離帯に水がたまることを防ぎます。

❸自由勾配型の多様な対応

幅300、400、500、高さ300～1200まで幅広く対応可能。

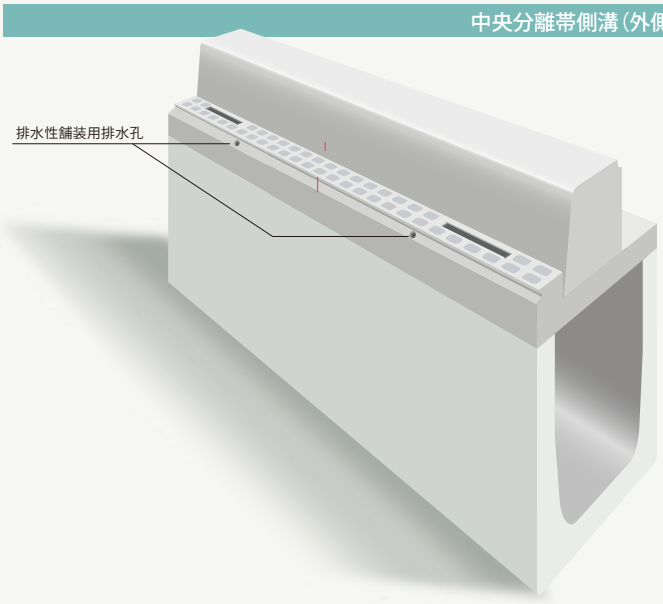
❹視界良好の草防止機能

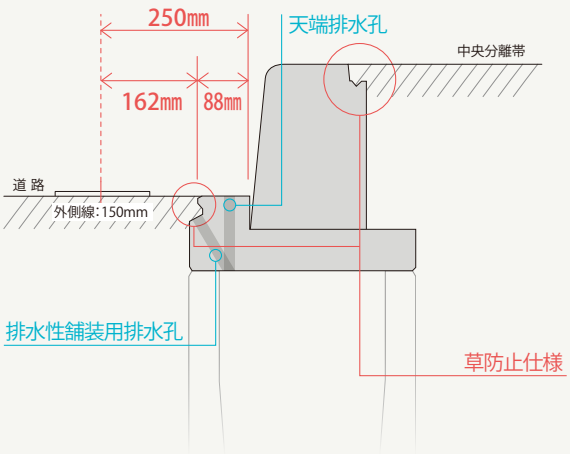
草防止機能を持たせているため、
雑草による走行時の視界不良を防ぎます。

詳しくは裏面をご参照ください。

桐生土木事務所 管内

中央分離帯側溝（外側線対応タイプ）





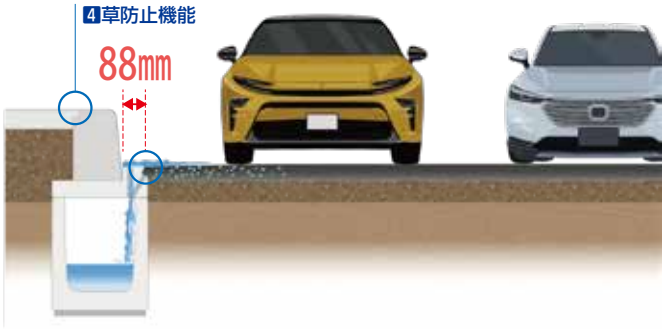
藤岡コンクリート工業株式会社

中央分離帯用管渠型側溝［草防止仕様］

路面が迅速に雨水を排水できなくなると、
水たまりによるハイドロプレーニング現象、
水はねによるスモーキング現象が発生しやすくなります。
その結果、車両走行の安全性が損なわれる
可能性があります。

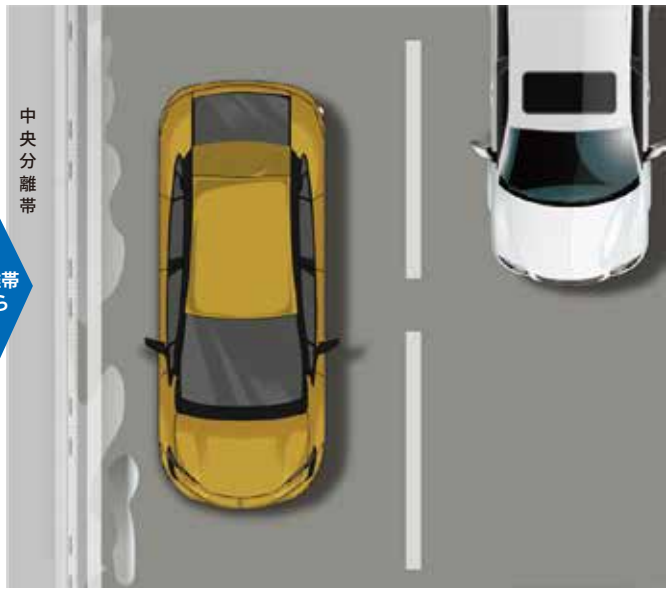


カーブ時の道路横断勾配により、
中央分離帯に水たまりが発生するのを防ぎます。
また、エプロン幅を88mmにすることで、
舗装幅を最大限に広げ、
外側線を設計通りに引くことが可能です。





中央分離帯側溝なら



1カーブ時の道路横断勾配にともない、中央分離帯に水がたまることを防ぎます。

カーブを通過する際、道路の横断勾配にともない中央分離帯に水がたまることがあります。この現象を防ぐために、道路設計においては連続する集水スリットを設けることが有効です。これにより、雨水が速やかに集められ、道路表面に水たまりができるのを防ぎます。この対策は、走行時の安全性を向上させ、車両のスリップや事故を未然に防ぐために重要です。

2エプロン幅を88㎜とすることで舗装幅を最大限に拡大でき外側線を設計通りに引くことができます。

エプロン幅を88㎜に狭めることで、舗装部分を広げ、車両の走行スペースを確保します。これにより、車線の外側線を設計通りに引くことが可能となり、車両の走行性が向上します。

3自由勾配型、幅300、400、高さ300～1200まで幅広く対応可能。

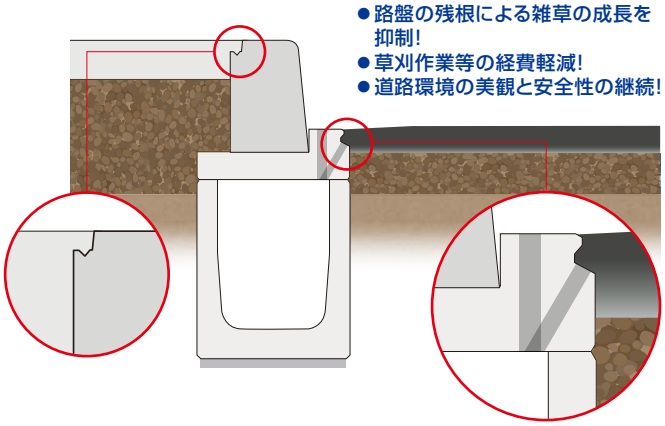
※自由勾配タイプは、底に穴が開いてます。

4草防止機能を持たせているため、雑草による走行時の視界不良を防ぎます。

草防止機能を持たせることで、雑草の繁茂を抑制し、走行時の視界不良を防ぎます。この機能により、ドライバーの視界が確保され、安全な運転が可能となります。また、定期的な除草作業の手間を減らし、道路管理の効率化にも寄与します。

自然の摂理を利用した防草システム

- 路盤の残根による雑草の成長を抑制!
- 草刈作業等の経費軽減!
- 道路環境の美観と安全性の継続!



ISO9001認証取得
藤岡コンクリート工業株式会社

〒375-0021 群馬県藤岡市小林735番地
TEL:0274-22-1038 / FAX:0274-22-1091
www.fujioka-con.jp
代表取締役　竹市 孝和

群馬県測量設計業協会 賛助会員
群馬県建築士事務所協会 賛助会員
群馬県コンクリート製品協同組合
理事長 竹市 和義《藤岡コンクリート工業(株)専務取締役》

2026年10月